

## 今年も暑熱対策をお願いします

気象庁の3カ月予報によると、今後の関東地方の気温は平年と同様に高い状態と予報されており、梅雨が明けると気温が急激に高くなることが予想されます。すでに蒸し暑い日が続いていますが、暑熱対策の実施をお願いします。



### 暑熱対策のポイント

- ✓ 換気扇や扇風機による畜体等への送風や散水・散霧
- ✓ 畜舎環境の改善
  - 寒冷紗やよしずによる日よけの設置
  - 屋根裏・壁・床への断熱材の使用
  - 屋根への石灰塗布、散水
  - 畜舎周辺の草刈り、使っていない機械類の移動
- ✓ 良質で消化率の高い飼料や、ビタミン・ミネラルの追給、きれいで冷たい水の給与
- ✓ 高温・多湿で飼料が変敗しやすい季節です。十分確認してから給与しましょう。



#### 参考

家畜がストレスを受ける気温は、畜種によって差があります。

乳用牛	26～27℃
肉用牛	22℃ (湿度が60%の場合)
豚	高温には弱く、成豚では直腸温 (38.5～39.5℃) が3℃上がると致命的な影響を受ける
鶏	大雛 20～30℃
ブロイラー	35℃以上で死亡羽数増加 (死亡率が20～30%になることもあり)

# ハエの防除対策を実施しましょう！

ハエの活動は、梅雨の前後と夏から秋の時期に活発化します。ハエの発生は近隣住民からの苦情の原因になるばかりでなく、病原菌やウイルスの媒介、ストレスによる家畜の生産性の低下にもつながります。

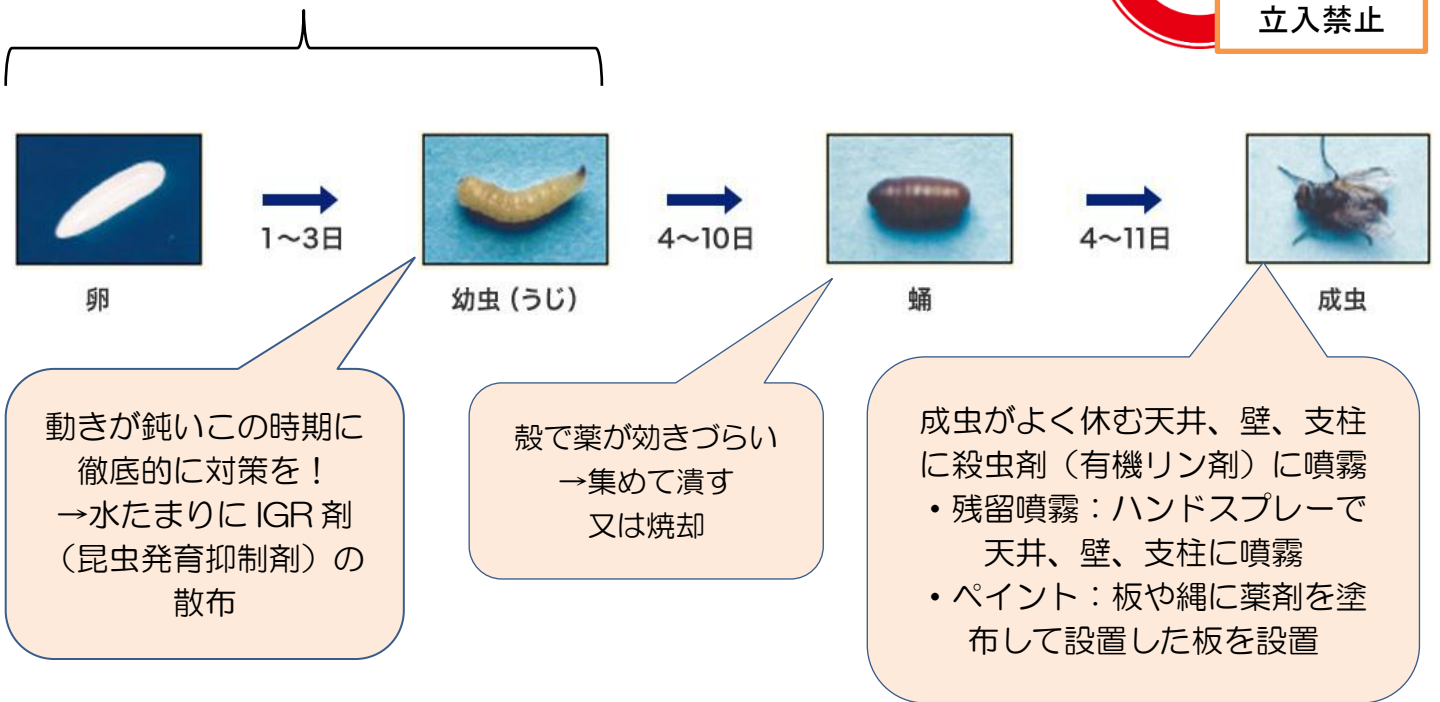
まずどこが発生源か見極め、ハエの活動時期に合わせて効率の良い駆除計画を立てましょう。

## 環境対策（ハエの産卵・生育場所をなくしましょう）

- 家畜の糞尿やこぼれた飼料のこまめな除糞、清掃
- 適切な堆肥化（40℃以上、水分50%以下でふ化率ダウン）



立入禁止



**注意**

※薬の飛散防止のため、風の強い日の散布は避けましょう！（雨天、曇天の日）  
※同じ薬剤を連用せず、異なる系統の薬剤をローテーションして使用しましょう。

## 飼料用米流通特別支援事業のご案内

補助対象 飼料用米の流通、調整、給与に関する機械、資材の整備

補助率 1/2以内

条件 農業者3戸以上の集団（個人ではできません）

飼料用米の地域内流通が、契約書等で明らかになっていること

新規で地域内流通に取り組むもの

要望×切 7月末

ご要望のある方はご相談ください